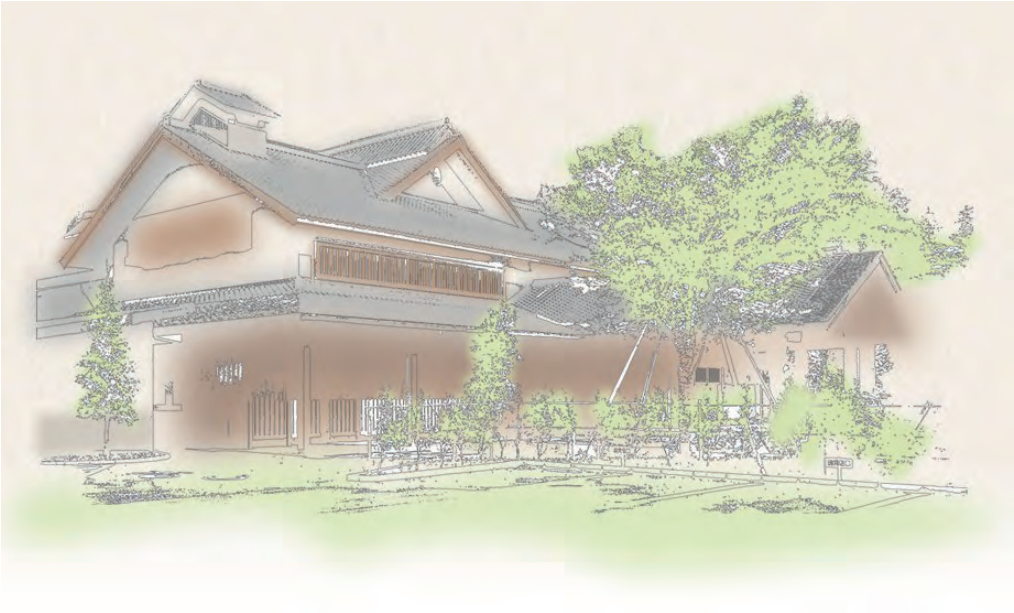
KOGANEI COUNTRY CLUB
小金井カントリー倶楽部



GUIDE BOOK
ガイドブック

ス造営は急ピッチで進められ、わずか8ヶ月で18ホールとクラブハウスをすべて人力によって完成させた。

日本が昭和20年に終戦を迎えると小金井CCは進駐軍に接収されたが、昭和29年に自営復帰を果たした。以降、小金井CCはさらなる発展を遂げて名門コースと呼ばれるに至り、現在もゴルファーから高い人気を誇っている。

昭和12年の創設時に作られた会員募集案内のパンフレットには、深川の思いを込めた以下の記述がある。

「有閑者の独占遊戯とみられたゴルフが、その門戸を開放して大衆スポーツの王座を目指す時代がやってきた―(中略)―もっと気軽に、もっと容易に、ゴルフをエンジョイ出来る倶楽部が数多く設けられてもよい筈であります」

小金井カントリー倶楽部（小金井ＣＣ）が開場したのは、昭和12年（１９３７年）のことである。日本のゴルフ黎明期ともいえる時代に、小金井ＣＣは誕生した。

創設者は、深川喜一という人物であり、もともと深川は無類のゴルフ好きで、駒沢にあった東京ゴルフ倶楽部に足繁く通っていたのであったが、当時そこは貴族や華族階級の者たちに占有されている状態であった。そこで日本におけるゴルフ普及の使命感を持っていた深川は、「もっと庶民が楽しめるゴルフ場を作ろう」と思い立ち、小金井ＣＣの設立に力を注いだのである。

コースの設計は当時、人気プロとして活躍していたウォルター・ヘーゲンに依頼。深川は本人に会うべく建設予定地の高低図を手にしてアメリカに向かい、見取り図を日本に持ち帰った。帰国後の昭和12年、コー

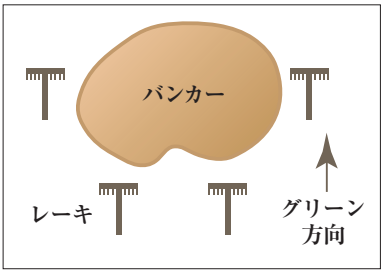
小金井カントリー倶楽部で
ゴルフをお楽しみいただく皆様へ

小金井カントリー倶楽部へのご来場を心から歓迎申し上げます。
当倶楽部は昭和 12 年にオープンし、今も当時から続く伝統と格式を大切にしています。
特にゴルフエチケット、マナーを貴重な財産として守り続けてきました。
メンバー並びにご来場されました全ての方々に楽しい 1 日をお過ごしいただきたく、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

小金井カントリー倶楽部
フェローシップ委員会

《ゴルフエチケット及びルールのお願い》

- □ 男性 35 歳未満、女性 20 歳未満の方は入場できません。
- □ 駐車場でのアイドリングストップにご協力ください。
- □ ご来場の際は、携帯電話はマナーモードに設定してください。
  やむを得ずコース内等で利用される場合は周囲のお客様のご迷惑とならないようご配慮ください。
- □ メンバー、ゲストの皆様お互いに挨拶の慣行を心掛けてください。
- □ プレーはハーフ2時間以内のラウンドをお願いします。
- □ バンカー内で作った凹みや足跡はプレーヤーご自身で修復してください。
- □ バンカーレーキはT字部分をグリーン方向に向けて置いてください。
  置き方は右図をご参照ください。
- □ バンカーの出入りは低い所からお願いします。



- □ グリーン上におけるボールマークやスパイクによる損傷の修復をお願いします。
- □ ティーイングエリアは昇降口から出入りしてください。
- □ セルフスタンドケースまたは、それに類似するケースの持ち込み、使用はできません。
- □ 食堂での携帯電話のご利用はご遠慮ください。通話は食堂以外でお願いします。
- □ 喫煙は決められた場所のみでお願いします。
- □ 前の組への打ち込み及び場外飛球には十分ご注意ください。

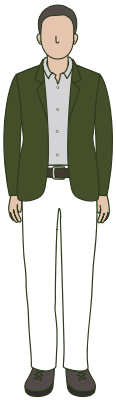
《服装のお願い》

【来退場時の服装】

□ 来退場はジャケットまたはブレザーを着用し、原則革靴でのご来場をお願いします。ジャケットをお忘れの方はクロークにてご用意しておりますので必ずご着用ください。
ただし、6月から9月までのジャケットまたはブレザーの着用は随意とします。

□ 軽装（ブルゾン、フード付き衣類、Tシャツ、ジーンズ、半ズボン、ホットパンツ、スニーカー、サンダル、ゴルフシューズ等）、またはそれに類似する衣類での来場はご遠慮ください。
Tシャツの着用はジャケットを着用しても不可とします。
クラブハウス内での襟立て、シャツの裾出しはご遠慮ください。
※女性の方はデザイン的に外に出すものは結構です。

□ デニム柄、迷彩柄またはそれに類似する柄は、いずれの場合でも着用はご遠慮ください。



《相応しくない服装例》

【プレー時の服装】

□ 折り返し襟付きのシャツ（タートルネック含む）を着用するものとし、ハイネックシャツの場合は、襟高4cm以上のシャツを着用してください。また、シャツの裾は、ズボンの中にお入れください。
襟に折り返しがなく、襟高が4cmに満たないシャツ（モックネックシャツなど）、または、それに類似するシャツやフード付きの衣類（雨具を除く）は、男女ともに着用できないこととします。

□ 女性のノースリーブシャツは、襟付きスタイルでお願いします。原則、シャツの裾は中にお入れください。
※女性の方はデザイン的に外に出すものは結構です。

□ 七分丈パンツ、女性の極端に短いスカート、デニム素材のパンツ、外に膨らみのあるカーゴパンツのご着用はご遠慮ください。
※替えのスラックスをお持ちでない男性のお客様にはクロークにて貸し出しています。お気軽にお申し付けください。

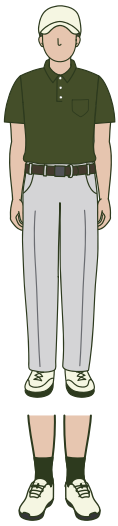
□ 半ズボンを着用の場合は、ハイソックスまたは踝が完全に隠れるソックスをご着用ください。

□ メタルスパイクシューズの使用は「全面禁止」とさせて戴きます。

□ いずれの場合でも華美なデザイン、色は控え、小金井カントリー倶楽部に相応しい服装でプレーをお楽しみください。

【クラブハウス、食堂内での服装】

□ 食堂及びコンペルームでのレインウェア、ジャンパー、長袖アンダーウェア、アームカバー類、スポーツサングラス、帽子の着用はご遠慮ください。
※長袖アンダーウェアを着用の場合は上着を着用するかもしくは、着替える等、アンダーウェアが周囲に見えないように工夫してください。
※アームカバー類は必ず脱いでください。



《プレーに相応しくない服装》

Tシャツ

襟高が4cmに満たないシャツ（モックネック等）

迷彩柄

カーゴパンツ

半ズボン時の踝が出るソックス

フード付き衣類

《食堂内の相応しくない服装》

防寒着（ダウン）

レインウェア

長袖アンダーウェア

アームカバー

《ご利用案内》

■ 組み合わせ表について

組み合わせ表は、氏名・ハンディキャップ・年齢をご記入の上、プレー当該日の2週間前までに送付いただきますようお願い致します。また、組み合わせ表提出後の参加者の変更等につきましては、お早めにご連絡をお願い致します。

なお、場外飛球による隣接地域住民への打球事故防止のため、1組のハンディキャップ合計を 90 までとさせていただきます。

■ 使用ティーについて

バックティー（青）、レギュラーティー（白）、フロントティー（ゴールド）の用意があり、バックティーの使用については1組の平均ハンディキャップが 15 以下である必要があります。なお、コンペでバックティーを使用することはできません。

■ 携帯電話のご使用について

敷地内ではマナーモードに切り替えてください。また、食堂内での通話は禁止となっており、所定の場所で通話可能です。その他の場所では他の会員様及びお客様にご配慮の上、ご利用ください。

■ 喫煙について

敷地内での喫煙は所定の場所でのみ可能です。キャディカートに灰皿は設置しておりません。

■ プレーをしない幹事の方

必ずフロントで幹事バッジを受け取り、見えるところに付けてください。来場可能人数はコンペ遂行に際して最少人数でお願い致します。コース内への立ち入りは不可とし、プレー中はクラブハウス内で待機してください。

■ ご予約について

オープン時間

スタート時間の 45 分前までにはチェックインをお済ませください。

オープン時間	受　　付	7 時 00 分
	練 習 場	7 時 00 分
	レストラン	7 時 00 分

休 場 日	毎週月曜日※ 1 月 1 日、12 月 31 日 ※月曜日が祝日の際は振替休場日を設けることがございます。

※予告なく変更することがございます。

予約

※原則会員本人からの問い合わせによりご予約いただけます。

	条件	予約方法
平日	会員同伴または紹介	プレー月２ヶ月前の第一営業日より電話受付 （電話受付：10 時 00 分より）
土曜日	会員同伴	プレー当該日の２ヶ月前より電話受付 （電話受付：10 時 00 分より）
	会員紹介	プレー当該日の1ヶ月前より電話受付 （電話受付：7 時 00 分より）
日曜・祝日	原則会員同伴必須	プレー当該日の２ヶ月前より電話受付 （電話受付：10 時 00 分より） ※ IN コースでのご案内 ※日曜・祝日の予約は会員優先
コンペ （４組以上）	会員同伴または紹介 （平日のみ）	当該日の1年前より受付 ※ただし、桜の時期はプレー月２ヶ月前の 第一営業日より受付

※貸切営業日は原則予約を受け付けません。
※予約開始日が休場日もしくは貸切営業日の場合は翌通常営業日が予約開始日となります。
※1組のハンディキャップ合計はスロープレー防止の観点から 90 以内でお願い致します。
※会員紹介の場合1組3名様以上で予約およびプレーが可能です。
※組み合わせはご予約後速やかにご連絡ください。

ヤードでパー4のホールを2ヶ所ずつ設ける

④350ヤード以下のパー4は造らない

⑤グリーンから次のティまでの移動距離は、できるだけ短くする

経費と工期の関係で③の項目だけは適わなかったが、実際に小金井CCをラウンドすると、上記条件を満たすコースデザインの妙に誰もが気付くだろう。

小金井CCのコースは開場当時から大きな改造が行われていない。それにも関わらず、このコースには何度回っても面白さを感じさせる不思議な魅力がある。

昨今のコース基準から考えると総ヤーテージこそ短いが、コースレートは高い。プレーヤーは心して対峙して欲しい。

小金井のコース

小金井ＣＣのコースを設計したのは、メジャー11勝の大記録を持つ名プレーヤー、ウォルター・ヘーゲンである。

当時のゴルフ界の流れでいうと、コース設計はＣ・Ｈ・アリソンのような有名設計家に依頼するところだが、創設者の深川はあえてそれを避け、人気プロゴルファーを設計者に選んだ。「そのほうが世間から注目を浴びるし、面白いゴルフ場になるだろう」と考えたからである。深川からのコース設計を依頼されたヘーゲンは、小金井ＣＣを一流コースにするために以下の５つの項目を挙げた。

①ショートホールは１５０ヤード以上
②ロングホールは６００ヤード以上だと面白みが無くなるので、それ未満
③アウト、インともに４３０～４４０

No.1

■ PAR 5
■ HDCP 13

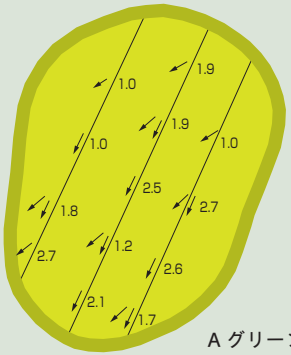
■ YARDS

A グリーン

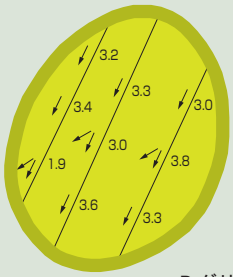
Back 521
Regular 500
Gold 491

B グリーン

Back 505
Regular 484
Gold 475



A グリーン



B グリーン

1番ホールコース攻略

スターティングホールはロングホールです。

ティーショットは左サイドを狙いたいところです。

280 ヤード付近から右に傾斜しながら下っており、さらに左側にクロスバンカーもありますので、セカンドショットの際、右サイドを広く使うためです。

グリーンを狙うショットは両グリーンとも急激な受けグリーンとなっていますので、使用クラブの選択に迷ったときはグリーンを狙える状況であっても、ショートしても良いぐらいの気持ちで臨んだほうが良い結果に繋がります。

1番グリーン攻略

〈AG〉

全体的に受けているグリーンです。

季節やグリーンコンディションでグリーンスピードは異なりますが、上からは良く転がるグリーンですので、タッチを合わせることが大切です。

グリーンセンターから右と左では、左側の傾斜のほうが緩やかで右側のほうが急傾斜となっていますので、横からのパッティングは慎重に傾斜を見てから行うことをお勧めします。

〈BG〉

AG よりも受けているグリーンです。

コンパクトなグリーンですので、オーバーは禁物です。ピンの位置が奥でも手前に乗せることが大切です。グリーンにオンしてしまうと、グリーンの傾斜がつかみにくくなります。1番ホールの BG は非常に傾斜の強いグリーンですので、横からのパッティングは想像より切れることが多く、タッチを合わせて寄せていくイメージでパッティングすることをお勧めします。

No.2

■ PAR 4
■ HDCP 3

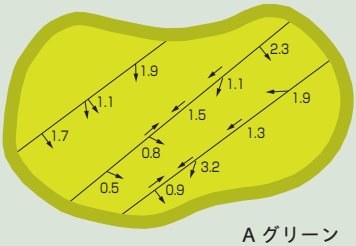
■ YARDS

A グリーン

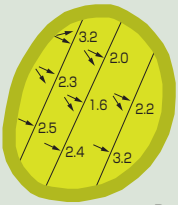
Back 407
Regular 385
Gold 379

B グリーン

Back 378
Regular 356
Gold 350



A グリーン



B グリーン

2番ホールコース攻略

ティーイングエリアから見える松群を境に、右ドッグしているホールです。

フェアウェイが右に傾斜しており、松群の手前にボールが止まったときは、やっかいな障害となり、次のショットはリカバリーだけになるということも十分に考えられます。

また、松群の右手前にはクロスバンカーもありますので、左前方林の中にある鳥居を目標にティーショットしてください。

セカンドショットでは、B グリーンを狙うショットはグリーン手前バンカーを避け、アプローチ勝負くらいの気持ちで臨みましょう。

一方、A グリーンはショートしやすい傾向にあります。グリーンが横長で形状に特徴があるため、ピンの位置によりアプローチショットの使い分けが必要となります。

2番グリーン攻略

〈AG〉

グリーンの真ん中が少し下がっている奥行の無い横長なグリーン。

真ん中が下がっているので錯覚することが多いですが、全体的には手前のエッジと奥のエッジはほぼ平らですので、手前から奥にパッティングする際は、奥に上って見えてしまいます。お気を付けください。

〈BG〉

左から右に強く傾斜しているグリーンです。

左サイドからパッティングする際は、距離を合わせてストロークすることをお勧めします。

No.3

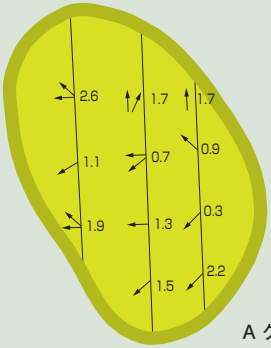
- PAR 3
- HDCP 7
- YARDS

A グリーン

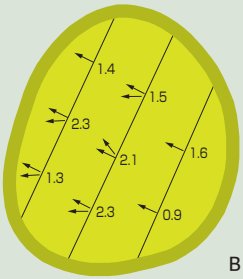
Back 185
Regular 158
Gold 144

B グリーン

Back 160
Regular 133
Gold 119



A グリーン



B グリーン

３番ホールコース攻略

最初のショートホールは使用グリーンによって攻め方が異なります。

A グリーンの場合は、何と言っても左のガードバンカーを避けることが第一です。

このバンカーは小金井随一の大きさがあり、最も深いサンドトラップです。

これを避けるためには、右側にある B グリーンの左土手を利用して、手前から転がすのも攻め方の一つです。

対して B グリーンのほうは手前ガードバンカーが口を開けており、グリーンは右から左へと傾斜しています。

ここでは、グリーンを狙うかバンカーを避けるかの選択が必要となります。狙う場合はグリーンセンターから右を狙うのが無難です。バンカーを避ける場合は左からのアプローチとなりますが、かなりの砲台となりますのでクッションを入れながらの転がしにするか、上げるのかを決め、中途半端にならないよう注意してください。

３番グリーン攻略

〈AG〉

左奥にマウンドがありますが、全体的には右から左に傾斜しているグリーンです。

マウンドの頂点の左側にピンがあるときは左に曲がり、右側にピンがある場合は、右に曲がっていきます。

マウンドがあるので強く打ちたくなりますが、マウンドの頂点を越えると下り傾斜となります。速いグリーンですので、タッチを合わせることが大切です。

〈BG〉

右から左に傾斜があるグリーンです。

受けているように見えるグリーンですが、横からはあまり切れないのでできるだけカップを外さないイメージで狙っていきましょう。

No.4

※場外飛球注意

■ PAR 4

■ HDCP 9

■ YARDS

A グリーン

Back 361

Regular 342

Gold 335

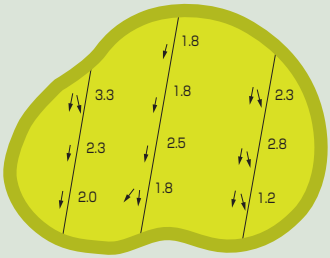
B グリーン

Back 353

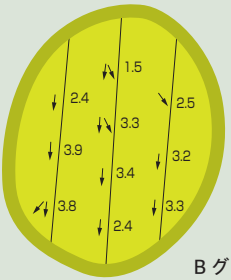
Regular 334

Gold 327

場外飛球注意



A グリーン



B グリーン

４番ホールコース攻略

４番ホールの特徴は、両グリーンとも手前に背丈以上もあるガードバンカーが待ち受けているということです。そしてグリーンも１番ホール同様、傾斜のきつい受けグリーンのため、特にＢグリーンはスコアを崩しやすいホールとなります。

さて、ティーイングエリアから 230 ヤードを過ぎた右サイドにはバンカーがあります。ドライバーの飛距離が 210 ヤード前後の方々には、このバンカーを気にする必要はないかもしれませんが、Ａグリーン使用時にティーショットが右サイドに行ってしまった場合、セカンドショットは無理にグリーンを狙わずにサードショットで確実にグリーンを狙える場所へ出しましょう。また、セカンドショットをグリーン右手前に運びやすいように、ティーショットは左サイドに打ちましょう。一方、Ｂグリーンの場合には、逆にグリーン左手前に花道があるので、ティーショットは右サイドでも問題はありません。セカンドショット以降、スコアを崩さないためにはＡグリーン･Ｂグリーンともに花道に２打目を運び、３打目のアプローチはピンの手前で止めておくのが良いでしょう。

また、仮にバンカー越えのアプローチが残ってしまっても左足上がりのライとなりますので慌てず対処しましょう。

４番グリーン攻略

〈AG〉

全体的に受けているグリーンです。

春夏秋冬、グリーンスピードやグリーン状態に関係なく、上からの下りのパッティングは転がりが良いので、タッチを合わせることが先決です。

グリーンは上に行けば行くほど傾斜が強くなりまので、横からのパッティングは良く切れます。

〈BG〉

AG 同様に受けているグリーンです。

傾斜が強いグリーンですので、横からのパッティングは要注意です。

上からのパッティングは、通常のストローク同様に打つとオーバーしてしまいますので、やさしいタッチで距離を合わせましょう。

No.5

※場外飛球注意

- PAR 5
- HDCP 1

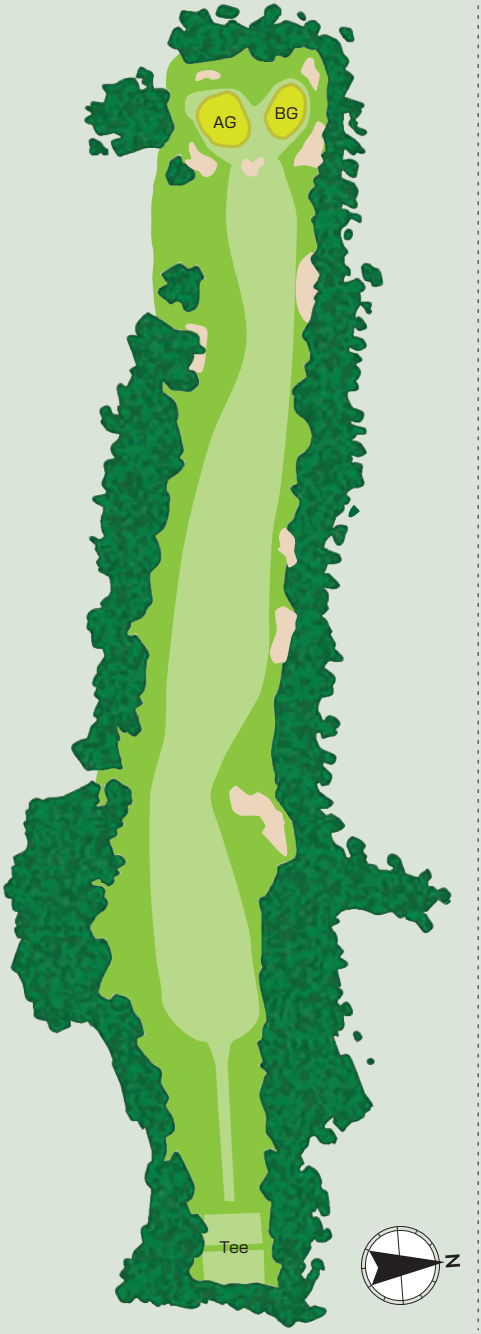
- YARDS

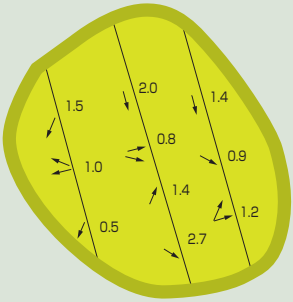
A グリーン

Back 502
Regular 486
Gold 482

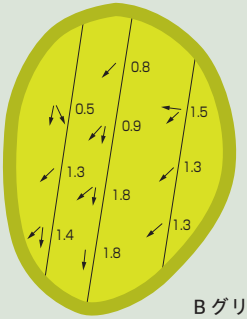
B グリーン

Back 503
Regular 487
Gold 483





A グリーン



B グリーン

５番ホールコース攻略

このホールの攻略ポイントは、右に４つ、左に１つあるサイドバンカーをどのように避けてグリーンまで運んでいくかというところにあります。

ティーショットは、フェアウェイセンターからやや左が狙い目です。セカンドショット以降は各サイドバンカーを避けていくのが重要となるため、球からバンカーの距離をしっかり把握しながらクラブ選択と狙いを決めていきましょう。グリーンを狙うショットでは、Ａグリーンの場合、そのほとんどがバンカー越えとなり高い球が要求されるため、高い球を打つ自信がないときは無理にグリーンを狙わずにグリーン手前からアプローチするほか、Ｂグリーンを狙っていきＢグリーンのカラー付近からアプローチするという選択肢もあります。

５番グリーン攻略

〈AG〉

全体的には右奥が高く受けているグリーンですが、左手前にあるマウンドがグリーンを読みづらくしています。

ライン上にマウンドがある場合は、マウンドの傾斜と全体的な傾斜の２箇所の確認が必要になります。

マウンドの先にピンがある場合は、マウンドの下り傾斜を考慮しながらタッチを合わせてください。思いのほか速いです。

〈BG〉

５番ホールの BG はピンが奥にある場合、果敢に攻めていくとボールが止まらず奥のバンカーに行ってしまい、大変な思いをしたことがある方も多くいらっしゃると思います。まずは、ピンの手前に乗せていくことが先決です。

グリーン上の傾斜は緩やかですが、全体的には左が低いグリーンです。

No.6

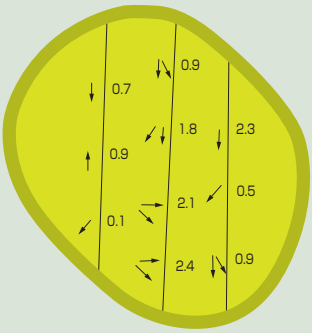
※場外飛球注意
※クラブ制限（アイアンのみ）

■ PAR 4
■ HDCP 15

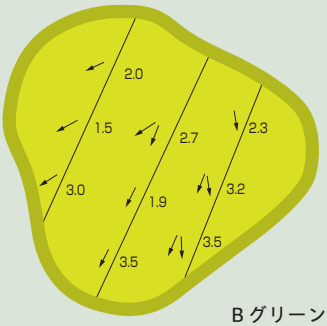
■ YARDS

Aグリーン
Back 379
Regular 359
Gold 331

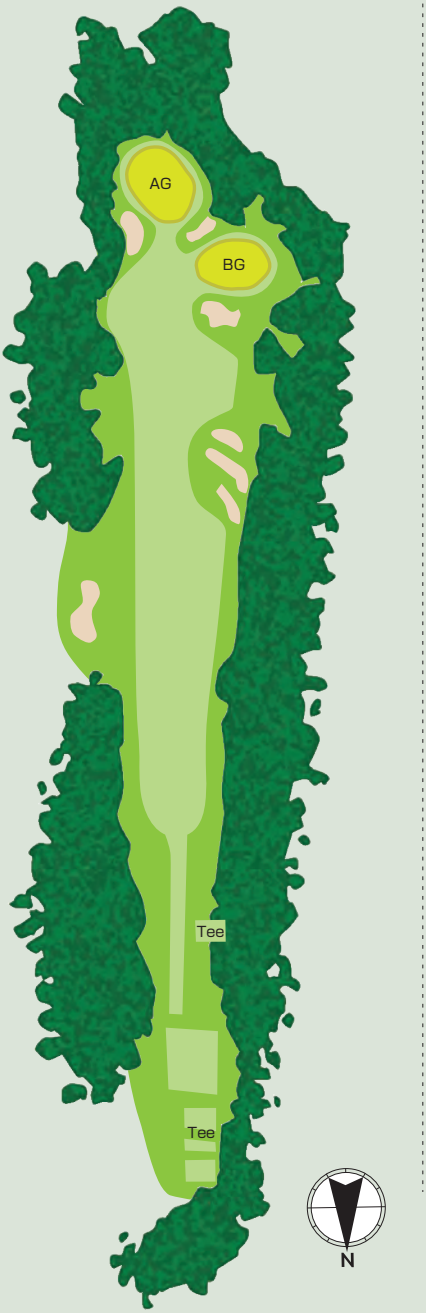
Bグリーン
Back 350
Regular 330
Gold 302



Aグリーン



Bグリーン



場外飛球注意

６番ホールコース攻略

ミドルホールです。このホールは 2024 年 12 月 31 日現在、ティーショット含み、アイアンのみ使用可能です。ウッド系クラブは使用不可となりますのでご注意ください。

ティーショットは落下地点が左に傾斜しているためフェアウェイセンターから傾斜を使いセンターやや左に持っていけるといいでしょう。とはいえ、特にＢグリーンの場合、右サイドに球が行ってしまうとセカンドショットでグリーンが狙えなくなるためどうしても左サイドを狙いたくなるのですが、狙いすぎると左手前の木に当たってしまうことも多々あるため、その点は注意が必要です。

セカンドショット以降、Ａグリーンの場合、グリーンを狙っていくほか、セカンドショット地点が左足下がりのライになることに加え、両脇にバンカーを抱えたきつい砲台グリーンを狙うことになるため、グリーンを狙わずにバンカーを避けあえて花道手前に刻みアプローチ勝負という考え方も有効です。

Ｂグリーンの場合、グリーン奥からの下り傾斜がきついためオーバーは禁物です。Ａグリーン同様、グリーンを狙っていくほか、安全にグリーン手前のバンカーを避けグリーン左横からのアプローチという考え方も有効です。

６番グリーン攻略

〈AG〉

受けているグリーンですが、左手前のマウンドや細かい傾斜が多いグリーンです。

ラインを読むときは、５番ホール同様にマウンドの傾斜と全体的な傾斜の確認が必要です。

〈BG〉

典型的な馬の背グリーンです。

見た目より傾斜が強いグリーンなので、グリーン周辺からのアプローチからグリーン全体の傾斜を大まかに確認しながら寄せていくとパッティングにも良い影響があると思います。

No.7

※場外飛球注意

■ PAR 3

■ HDCP 17

■ YARDS

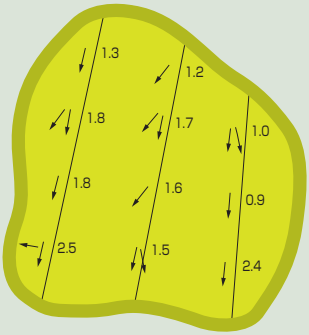
A グリーン

Back 145
Regular 131
Gold 127

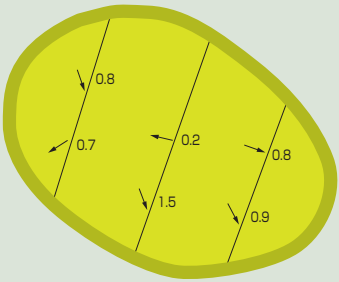
B グリーン

Back 130
Regular 116
Gold 112

場外飛球注意



A グリーン



B グリーン

７番ホールコース攻略

３番ホール以来のショートホールです。

このホールも、グリーン周りのほとんどがバンカーに囲まれていて、初めてティーイングエリアに立った人は圧迫感を覚えることでしょう。

しかし、ここでは臆することなくしっかりとグリーンを狙って欲しいのですが、とはいえバンカーを避ける選択肢もあるため中途半端にならないように注意しましょう。

また、グリーンのすぐ手前までバンカーが迫っており、キャリーでグリーンに届くクラブを選択しなければならないため、グリーンに止まりきるかどうかも見極めて攻め方を決める必要があります。

Ａグリーンを狙う場合は、ティーイングエリアとグリーンとの高低差がプラス３ヤードあるため、距離表示よりプラス５ヤードくらいを考慮したクラブ選択が必要となります。

バンカーを避ける場合はＡグリーンとＢグリーンの間を狙うか、バンカー手前に止めて攻めていくのかの選択となります。

Ｂグリーンを狙う場合は、グリーンの奥行きがなくグリーン面も受けていないため、Ａグリーンよりもさらにキャリーで止められるショットが必要です。

バンカーを避ける場合はＡグリーンとＢグリーンの間を狙うのが良いでしょう。なぜならバンカー手前に止めたとしてもバンカー越えに加えて奥にも難しいバンカーが待ち構えており、とても難しいアプローチが残ってしまうためです。上げるアプローチショットが苦手な方にはお勧めできません。

７番グリーン攻略

〈AG〉

全体的に受けているグリーンですが、右奥から左下にかけて緩やかな傾斜があり、全体的に右から左へパッティングする場合は大きく切れます。

また、手前にピンがある場合は、傾斜が強いのでタッチを合わせることが最優先です。

〈BG〉

グリーンの奥行が短いため、乗せることが難しいグリーンです。

グリーン上の傾斜は穏やかでほぼ平らです。グリーンセンターより手前は花道側に傾斜がありますので若干切れます。

No.8

■ PAR 4
■ HDCP 11

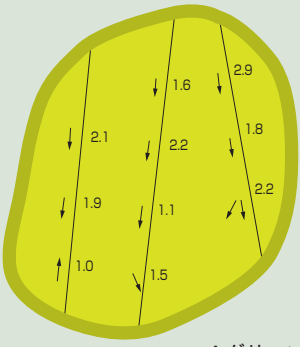
■ YARDS

A グリーン

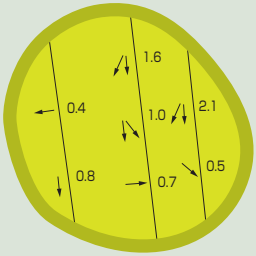
Back 379
Regular 356
Gold 347

B グリーン

Back 356
Regular 333
Gold 324



A グリーン



B グリーン

８番ホールコース攻略

レギュラーティーから 180 ヤード付近より打ち下ろしになっているミドルホールです。

このホールは、使用しているティーマークや風などにより、ティーショットが坂の手前に止まる場合と坂下まで飛ぶ場合とがあります。坂の上で止まりそうな場合は左右のサイドバンカーを避けたいところですが、特に右のバンカーに捕まらないよう注意が必要です。そしてセカンド地点からグリーンまでは、まだ残り距離が十分にありますので、３打目を狙いやすいフェアウェイ左サイドに打っていくのが良いでしょう。万が一、下り斜面の途中で止まってしまった場合も無理にグリーンを狙わずに３打目が確実に狙える場所まで出しましょう。

Ａグリーンを狙う場合、坂下よりグリーンまで今度は上り傾斜になっており、見た目以上に距離があるため、しっかりとした距離感と方向性を大切にしてください。

Ｂグリーンを狙う場合、グリーン手前のガードバンカーに加えグリーンが小さいことからＡグリーンと同様にしっかりとした距離感と方向性が重要となります。アプローチも同様に難しいショットとなりますが、ここは奥にバンカーがありませんので、慎重になりすぎないようにしっかりとストロークしてください。

８番グリーン攻略

〈AG〉

全体的には、左奥から右手前に傾斜があります。グリーンの左手前の一部が左に傾斜している箇所もありますので、ピンの位置に対しての傾斜を見ることが大切です。

〈BG〉

コンパクトなグリーンですが、左手前から右手前に下っているグリーンです。

細かい傾斜が左右にあるので、カップ周辺の傾斜を見極めることが重要です。

No.9

■ PAR 4
■ HDCP 5

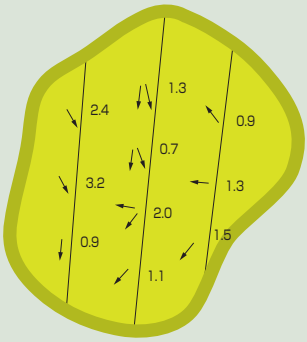
■ YARDS

A グリーン

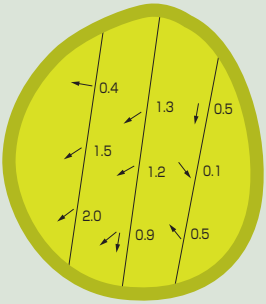
Back 429
Regular 419
Gold 416

B グリーン

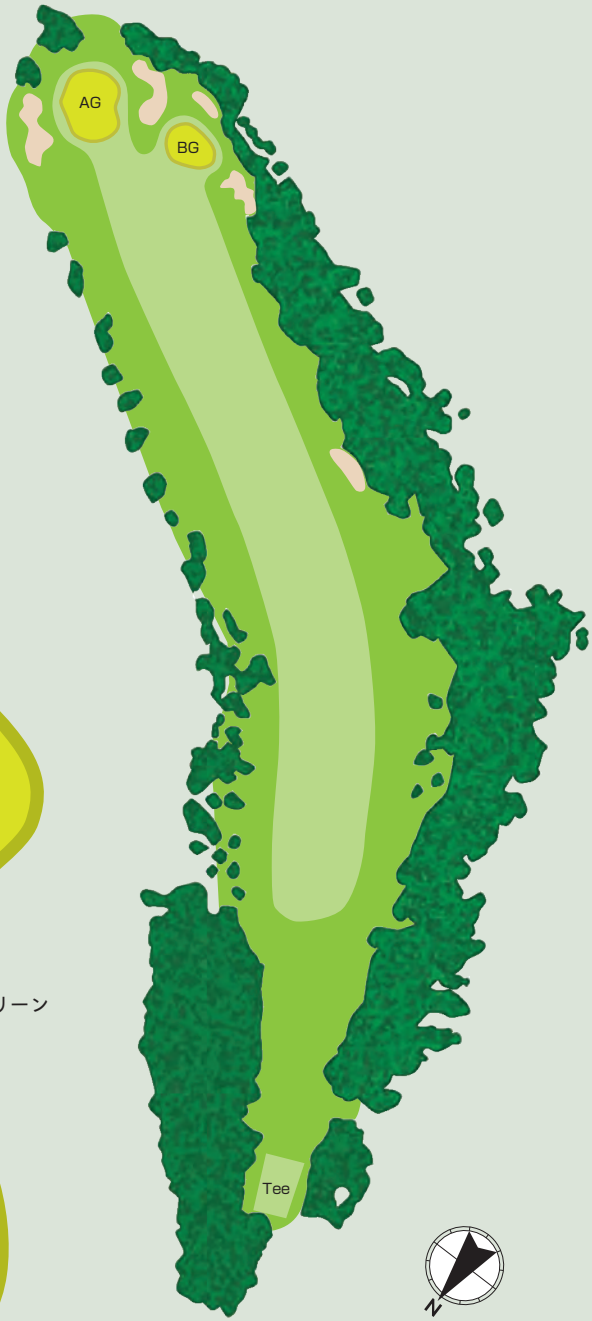
Back 398
Regular 388
Gold 385



A グリーン



B グリーン



９番ホールコース攻略

ティーイングエリアが低い場所にあるため、ティーショットは打ち上げていく左ドッグレッグのミドルホールです。

このホールは距離もあり、かつティーショットは高い球を打ちたくなるため、自然と目線が上がりやすく普段よりも右肩を下げてアドレスしてしまい、ミスを誘発しがちです。狙い目は先に見える練習場ネットの左斜めに下がっている部分ですが、アドレス時の方向をとる動作でも目線が上がりやすくなり、上がった目線を一度下げてからのショットをお勧めします。また、ティーイングエリア前方の上り斜面さえ越えればその先は平らな傾斜のため、極端に高い球を打つ必要はありません。なお、左ドッグレッグのため、左サイドギリギリを狙いすぎると２打目で松が邪魔となり、場合によっては３打目も距離的に厳しくなります。たとえ２打目の距離が残っても左を狙いすぎないように攻めていきたいところです。

Ａグリーンの場合、手前は開けているので、アプローチショットは上げても転がしても良いでしょう。中途半端にならないようにしっかり決めてからストロークしてください。

Ｂグリーンの場合、砲台グリーンへのアプローチショットになります。グリーンが小さく奥にバンカーはありますが OB になりやすいため、グリーンに近い場合はランニングアプローチを用いたほうが安全です。

また、距離の出る方はグリーンを狙いたいところですが、グリーン右はすぐに OB となるため、自信のないときはミスしてもアプローチショットでパーが拾えるようにグリーンの左端を狙うほうが良いでしょう。

９番グリーン攻略

〈AG〉

雄大で大きなグリーンですが、実際には、グリーンの左右にマウンドがあるためセンターへ下り傾斜が強く、大きく曲がります。ピンの位置に対して、できるだけ広いサイドからパッティングしていくことが得策です。

〈BG〉

全体的には傾斜は緩やかな受けグリーン。見た目通りに切れていきます。

No.10

※場外飛球注意

■ PAR 4

■ HDCP 10

■ YARDS

A グリーン

Back 382

Regular 372

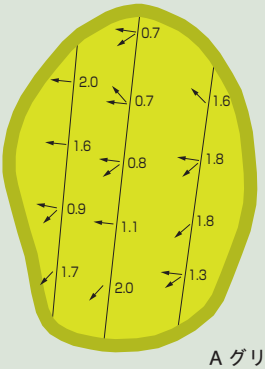
Gold 353

B グリーン

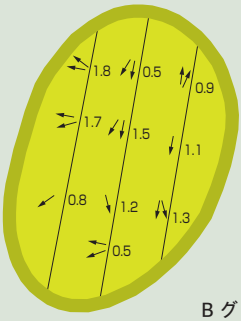
Back 350

Regular 340

Gold 321



A グリーン



B グリーン

場外飛球注意

10 番ホールコース攻略

このホールと次の 11 番ホールは東に真っすぐ伸びているホールです。右端が OB ゾーンとなっており、ティーショットは、なかなか神経を使うと思われます。アベレージゴルファーにとっては、右前方 160 ヤード付近にあるクロスバンカーや OB が気になる存在のため、左に行きやすい傾向にあります。しかし、フェアウェイが微妙に左傾斜しており転がってラフに入りやすく、そこからですと、セカンドショットの目標が取りにくくなってしまいます。一方、上級者でもフェード打ちの方にとっては、左の木々が視界を狭め、心理的に圧迫感を与えます。

セカンドショットは、A グリーンのときは手前からアプローチを行えるよう、グリーンの手前、つまり B グリーンの右サイドに運ぶのが良策だと思います。また、B グリーンの場合も、グリーン左がガードバンカー及び崖下になっていますので、絶対左に行かぬようグリーン右側を狙わなければなりません。アプローチショットのときは、無理に上げる必要はなく、確実に転がしていくほうが無難です。A グリーンの場合には、グリーン左半分は奥に向かって真っすぐ転がるのに対し、右半分は若干左に転がることも考慮していただければ、ピンに寄っていくと思います。

10 番グリーン攻略

〈AG〉

花道も広く穏やかに見えるグリーンですが、右から奥に速いグリーンで、見た目より手前から速く、奥から遅いです。

インコースのスタートホールでもありますので、まずは、タッチを合わせていくことをお勧めします。

〈BG〉

グリーンの左側に身の丈程のバンカーがあり、右サイドから攻めていくことが大切です。

大きく切れるグリーンではないのですが、右側からは見た目より速いので、タッチを合わせていきましょう。

No.11

※場外飛球注意

■ PAR 4

■ HDCP 4

■ YARDS

A グリーン

Back 465

Regular 448

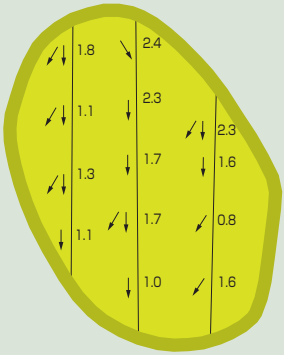
Gold 415

B グリーン

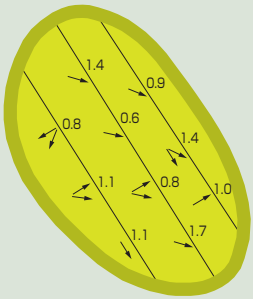
Back 450

Regular 433

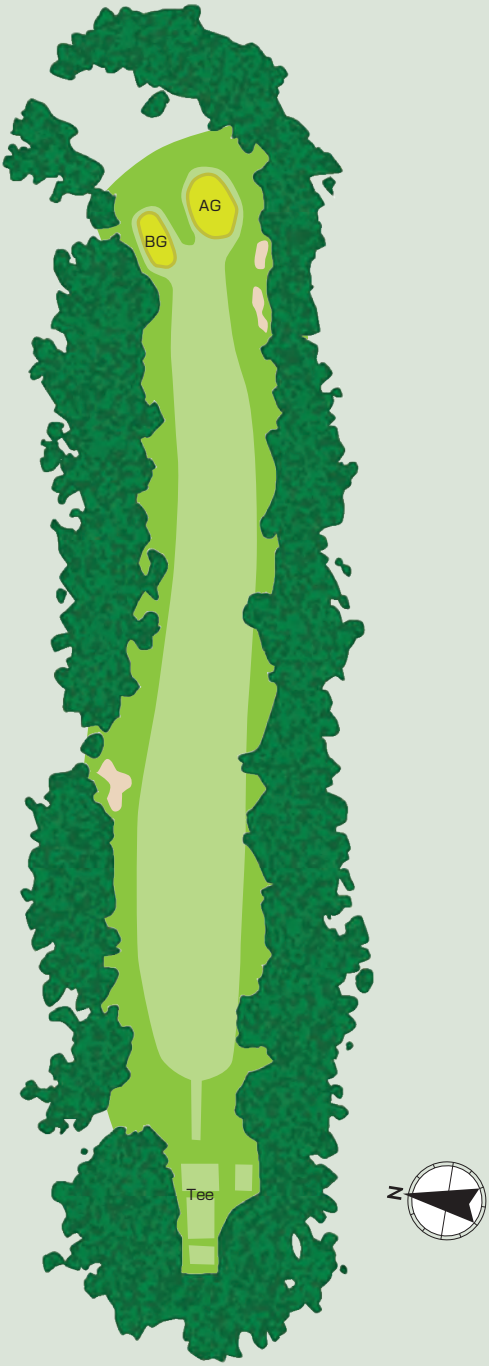
Gold 400



A グリーン



B グリーン



場外飛球注意

11 番ホールコース攻略

このホールは、昭和 20 年代まではロングホールでした。現在では最も距離のあるミドルホールで、戦略を立てるときにはセミロングホールという意識を持ってほしいものです。ボギーで上がればナイスボギーであり、十分パーの価値があると思います。

ティーショットは確実にフェアウェイをキープしたいところですが、距離が長い故に力が入りやすく、右に押し出す方が多いように見受けられます。こういうときこそ下半身を安定させ、上体には力を入れずに、フィニッシュまで振り抜くというスイングの基本を思い出してください。

セカンドショットはできるだけ距離を稼いでグリーン付近まで持っていきたいものです。それでも A グリーンの場合には 50 ヤード前後距離を残すことになると思います。B グリーンを狙う場合には手前正面に松群があり厄介です。さらにグリーン左はすぐにベアグラウンドになっており、ここに外してしまったときは、ダブルボギーも覚悟しなければなりません。なぜならばこのグリーンの形が縦長になっており、左右に外したときはグリーンの幅がないため、アプローチの球が止まりにくくなるからです。

11 番グリーン攻略

〈AG〉

奥行きも長く、一見、平坦なグリーンに見えますが、グリーンを 3 分割すると、手前から奥に向かって徐々に傾斜が強くなるグリーンです。

〈BG〉

グリーン中心から左右に下っているグリーンです。

ピンに対して横からパッティングする場合はタッチを合わせることが最優先です。

入れ頃の距離から3パットすることもあるので、要注意です。

No.12

※場外飛球注意

■ PAR 3

■ HDCP 14

■ YARDS

A グリーン

Back 191

Regular 168

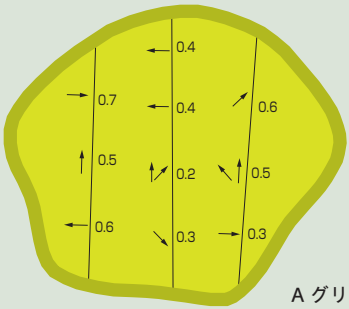
Gold 117

B グリーン

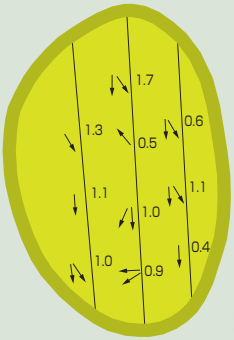
Back 167

Regular 158

Gold 113



A グリーン



B グリーン

12番ホールコース攻略

このホールはガードバンカーに囲まれているものの、グリーン手前には花道があるためBグリーンのほうが良い結果が出やすいでしょう。ティーショットでこのバンカー左側に迫り出している松枝等に注意すれば、ボギーで上がることはそう難しくないと思います。一方、Aグリーンはティーイングエリアから眺めると大きく口を開けて待っているバンカーが目に入ってくる場景であり、しかも比較的距離のあるショートホールのため、キャリーで170ヤード近く求められることから初めてラウンドする方などは、戦略を立てるどころか意気消沈して滅入ってしまうホールだと思います。

使用クラブはバフィーかクリークを持つ方が多いと思いますが、グリーンは砲台になっており、深いバンカーの餌食にならなかったとしても、万が一球が止まらずに奥にこぼれてしまったり、右に外してしまうと、やはり、難易度の高いハイボールが要求されてしまいます。そこで、どうしてもこのバンカーが嫌だという方は、思い切って左のBグリーンを狙ってみるのも手だと考えます。また、このホールは南北に伸びていますので、季節風の影響を受けやすく、夏はフォローの風に乗ってキャリーでグリーンをオーバーしやすくなります。もし、グリーンを外しハイボールのためのロブショットを試みる場合には、まずグリーンに乗せることを念頭に置いてください。

12番グリーン攻略

〈AG〉

一見受けグリーンに見えますが、実は平坦なグリーンです。なので、どの方向からも曲がらずに、ほぼストレートのラインとなります。

〈BG〉

Aグリーン同様となります。

ピンに対して横からのパッティングは、Aグリーンよりもストレートに狙っていきたいグリーンです。

No.13

※場外飛球注意

■ PAR 4

■ HDCP 2

■ YARDS

A グリーン

Back 408

Regular 397

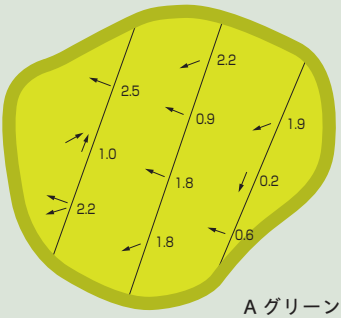
Gold 375

B グリーン

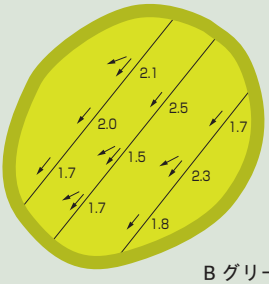
Back 395

Regular 384

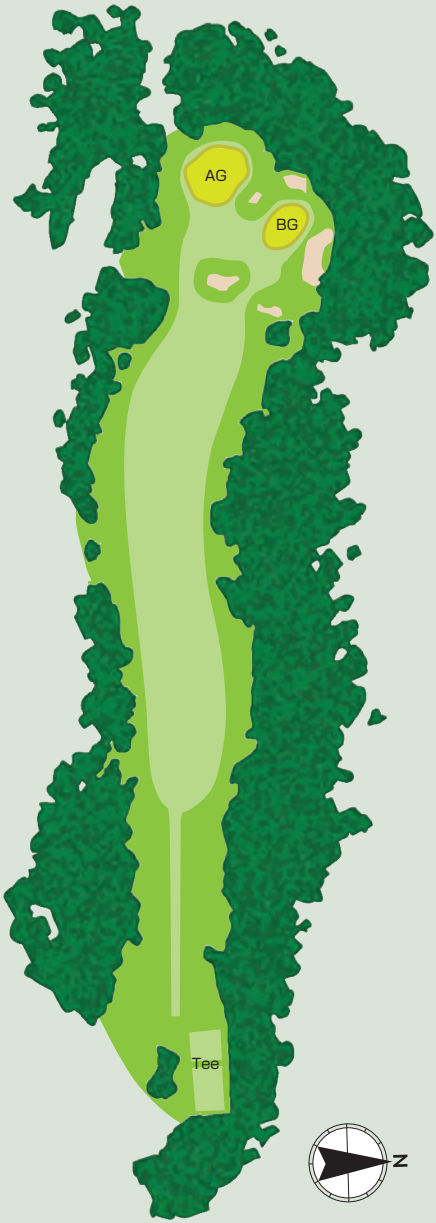
Gold 362



A グリーン



B グリーン



場外飛球注意

13 番ホールコース攻略

このホールも比較的距離のあるミドルホールです。そのため安定したティーショットをフェアウェイ左サイドに打っていきたいところです。ティーショットの際、立ちにくいホールの１つですが、14 番ホールのティーイングエリアを狙っていくと良いでしょう。

セカンドショットは、自信があれば思い切ってバンカーを越えてグリーンを狙っていくほかに、A グリーン及び、B グリーン手前 50 ヤード付近にある２つのクロスバンカーを避けるためにあえてバンカーの手前に刻み、サードショット勝負で攻めていくと良いでしょう。また、このホールは意外と砲台がきついため、グリーンを狙う際の距離感やアプローチする際のアドレスの取り方に注意が必要です。

13 番グリーン攻略

〈AG〉

インコースで、一番砲台で全体的に受けているグリーンです。

左手前、右手前にマウンドと右奥に緩やかなスロープがあり、複雑で読みづらいグリーンです。ライン上にマウンド等がある場合は、マウンド等の傾斜と全体的な傾斜の２箇所の確認が必要になると思います。

〈BG〉

コンパクトなグリーンですので、オーバーは禁物です。

インコースはコース全体がフラットなので、グリーンの傾斜も緩やかな感じがしますが、アウトコース１番、４番と同じくらい傾斜が強いです。下りのラインは見た目より、速いのでタッチを合わせていきましょう。

No.14

※場外飛球注意

■ PAR 4

■ HDCP 18

■ YARDS

A グリーン

Back 363

Regular 350

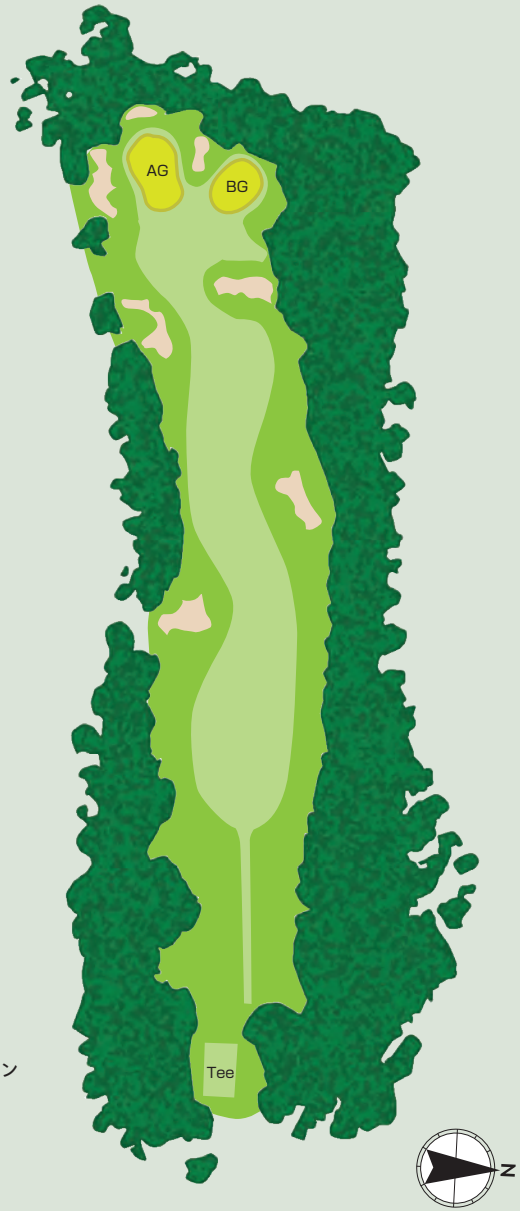
Gold 342

B グリーン

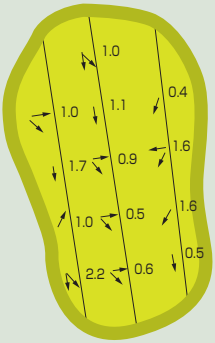
Back 353

Regular 340

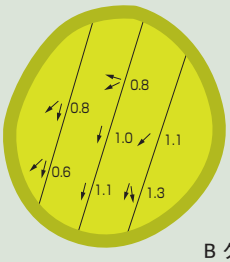
Gold 332



場外飛球注意



A グリーン



B グリーン

14番ホールコース攻略

このホールは、比較的距離のない直線的なミドルホールですが、フェアウェイはS字型にうねっており、ティーイングエリアから180ヤード先の左サイド、220ヤード先の右サイドにそれぞれフェアウェイバンカーが待ち構えています。ティーショットは左サイドのフェアウェイバンカーを注意しながらBグリーンを狙っていくと良いでしょう。

セカンドショットは、Aグリーン手前70ヤード付近の左サイドにあるフェアウェイバンカーと、Bグリーン手前50ヤード付近にあるクロスバンカーを避けていきたいところです。

Aグリーンのときは大きく花道を使うことができるため、グリーンを狙える状況であれば思い切って狙っていきましょう。

Bグリーンのときもグリーンを狙える状況で、バンカーを越える自信があるときは思い切って狙っていっても良いでしょう。ただし、バンカーを越える自信がないときは、Aグリーン側からアプローチ勝負のほか、クロスバンカー手前に刻んでサードショット勝負といった選択肢もあります。アプローチの際は小さな強い砲台グリーンのため、どのような球筋で寄せていくのかしっかり決めてからショットすることがミスの防止に繋がるでしょう。

14番グリーン攻略

〈AG〉

左奥が高く、グリーンの中央に向かって傾斜しています。

奥行きがとてもあるので、ピンの位置をしっかり確認しましょう。

〈BG〉

コンパクトな砲台グリーンです。

一見平坦なグリーンに感じますが、微妙な傾斜がありますので、ストレートなラインに見えても少し曲がることもあるので要注意です。

手前から左に曲がる傾向があります。

No.15

■ PAR 5
■ HDCP 8

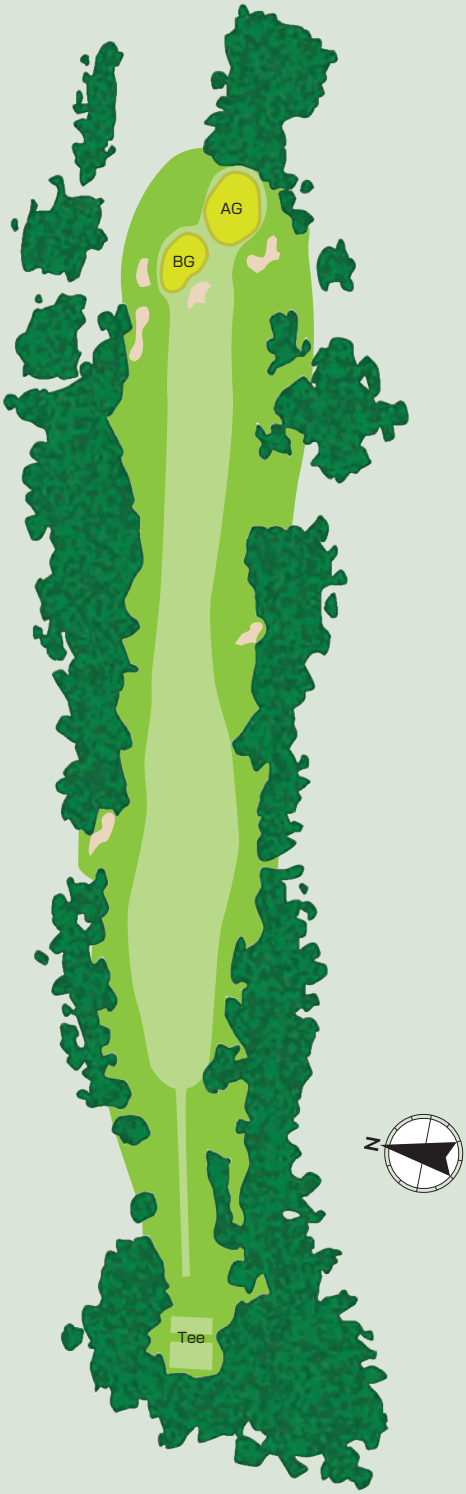
■ YARDS

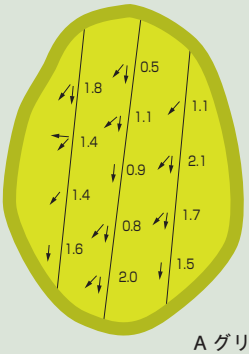
A グリーン

Back 505
Regular 486
Gold 482

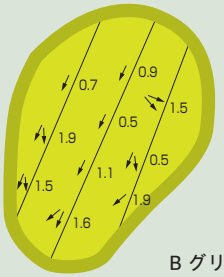
B グリーン

Back 494
Regular 475
Gold 471





A グリーン



B グリーン

15 番ホールコース攻略

やや打ち下ろしのロングホールであり、スコアを稼ぎたいホールでもあります。ティーイングエリアより 220 ヤードから 250 ヤードあたりでフェアウェイが絞り込まれ、18 番ホール側へ右に傾斜していますので、ティーショットはフェアウェイ左サイドが狙い目となります。ティーショットを無難に乗り切り、セカンドショットも比較的良いショットができればサードショットはグリーンを狙っていくことができるのでパーオンするチャンスは十分あると思います。

A グリーンのときは、右手前のガードバンカーから奥は背丈以上の砲台となるため避けていきたいところです。とはいえ、B グリーン手前のバンカーに入れてしまうとグリーンオーバーは絶対に避けたいバンカーショットとなってしまうため、このバンカーを確実に越えるクラブ選択をしたうえで、グリーンのセンターから左を狙っていくと良いでしょう。

B グリーンのときは、セカンドショット以降をフェアウェイ左サイドからグリーンの花道を使って攻めていくと良いでしょう。グリーンの花道を狙える状況でない場合は思い切ってバンカー越えを狙っていくほか、ピンを狙わずに確実にバンカーを越えるクラブを選択してグリーンの右端を狙っていくのも良いでしょう。

15 番グリーン攻略

〈AG〉

奥行きがあるグリーンですが、オーバーは禁物です。

グリーン上にあがると傾斜が見えにくいのですが、手前から上りとなります。

思ったより上から早く、横からは良く曲がるので要注意です。

〈BG〉

コンパクトなグリーンです。

グリーンを狙う際には距離感を大切にショットしていきましょう。オーバーは禁物です。

大きく曲がるラインは無いので、しっかり距離を合わせてパッティングしていきましょう。

No.16

■ PAR 4
■ HDCP 6

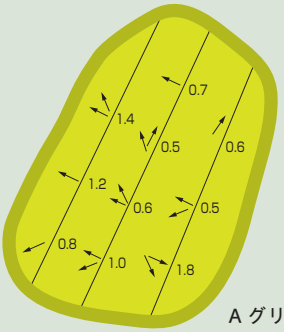
■ YARDS

A グリーン

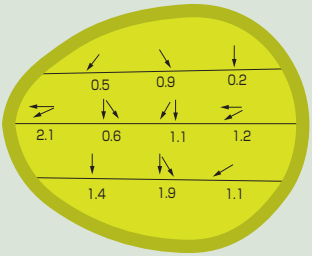
Back 387
Regular 376
Gold 346

B グリーン

Back 378
Regular 367
Gold 337



A グリーン



B グリーン

16 番ホールコース攻略

このインコースでは 11 番ホールに次いで平均スコアの悪いミドルホールで、ティーイングエリアからグリーンまで上り傾斜が続くホールとなります。ティーショットでは、右サイド 200 ヤード地点にあるフェアウェイバンカーを避け左サイドから攻めていけると良いでしょう。万が一、バンカーに捕まってしまった際は残り距離に対し比較的顎が高いため、無理せず余裕を持ったクラブ選択をしたうえで確実にサードショットが狙える場所へ打っていくことができると良いでしょう。

セカンドショットはグリーンを狙っていくほか、A グリーン・B グリーンともにグリーンとグリーンの間を狙い、アプローチで勝負していくのが攻め方としては無難な選択となります。また、セカンドショット地点は上り傾斜となり、見た目以上の距離が残ってしまうことに加え、球が曲がりやすいライともなるため、自信のないときはガードバンカー手前に刻んでアプローチするという選択肢もあります。

16 番グリーン攻略

〈AG〉

全体的には右から左に曲がるグリーンです。

グリーン中央付近が高く、奥へと下っています。

カップの位置とボールの間の傾斜をよく見てから、パッティングしましょう。

〈BG〉

奥行きのないグリーンですので、オーバーは禁物です。

グリーン手前に大きなバンカーもありますので、右花道方向からグリーンを狙っていきましょう。右から左によく転がるグリーンです。

No.17

■ PAR 3
■ HDCP 12

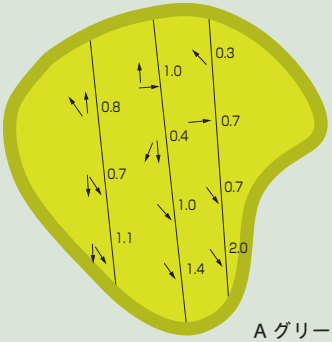
■ YARDS

A グリーン

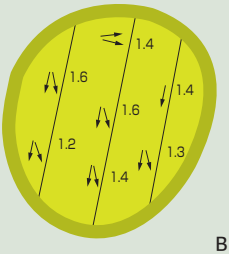
Back 221
Regular 203
Gold 127

B グリーン

Back 215
Regular 197
Gold 121



A グリーン



B グリーン

17番ホールコース攻略

このホールは、当倶楽部で一番距離の長いショートホールであり、花道が狭くワンオンさせるのが難しいホールです。そのため、Aグリーン・Bグリーンともにガードバンカーと Bグリーン右手前にある松の木を避けてグリーンとグリーンの間を狙い、アプローチで勝負していくのが無難な攻め方となります。

Aグリーンの場合は、ティーショットの際、ワンオンを無理に狙いすぎて左の林へ打ち込んでしまうとトラブルになることがあるため注意が必要です。グリーン左のガードバンカーは比較的やさしいバンカーなので、仮にバンカーに入ってしまっても落ち着いて対処できると良いでしょう。

Bグリーンの場合も、ティーショットの際、ワンオンを無理に狙いすぎて右手前松の下に球が止まってしまうと難しいアプローチが残ってしまうため、注意して攻めていきたいところです。グリーン右のバンカーに入ってしまうと寄せるには難しいバンカーショットが残ってしまうため、バンカーショットが苦手な方は避けていきたいところです。

17番グリーン攻略

〈AG〉

全体的に左側が高いグリーンです。

中央付近にマウンドがあるため、左奥は左に曲がり、右奥へは右に曲がりたがる傾向があります。

〈BG〉

一見平坦なグリーンに感じますが、全体的に左側が高いグリーンですので手前から右に曲がる傾向があります。

No.18

※場外飛球注意

■ PAR 5

■ HDCP 16

■ YARDS

A グリーン

Back 530

Regular 494

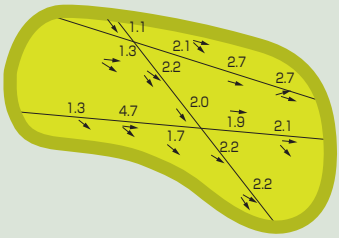
Gold 492

B グリーン

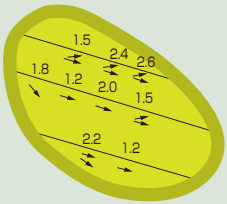
Back 525

Regular 489

Gold 487



A グリーン



B グリーン

18番ホールコース攻略

このホールは、やや左ドッグしたロングホールであり、ティーイングエリアから左のフェアウェイバンカー付近までは、コースに沿って左の林側にレッドペナルティーエリアが存在しますので、できるだけ右サイドから攻めていくのが良いでしょう。

ティーショットはフェアウェイセンターから右サイドを狙い、続くセカンドショットもフェアウェイセンターから右を狙っていくのが無難です。

サードショットはAグリーンの場合、右手前ガードバンカーを避け、AグリーンとBグリーンの間からグリーンを狙っていくと良いでしょう。Bグリーンの場合は、思い切ってグリーンを狙っていくか、もしくは安全に左手前のガードバンカーを避け、グリーンとグリーンの間からアプローチ狙いで攻めていくのが良いでしょう。

18番グリーン攻略

〈AG〉

最終ホールは2段グリーンです。

上の段は、ほぼ平らですので、大きく曲がるラインはありません。

下の段は、奥からかなり下っているため、横からのパッティングは、見た目より大きく曲がります。

〈BG〉

グリーンの幅が狭く奥からかなり下っているので、グリーンを狙う際には距離感を大切にショットしていきましょう。オーバーは禁物です。

横からのパッティングは大きく曲がります。

クラブハウス

昭和 12 年に建設された旧クラブハウスが老朽化によって建て替えられることになった際、メンバーによる「クラブハウス改築委員会」では何度も検討が重ねられた。そして新しいクラブハウスでも、出来る限り旧クラブハウスの趣を残し、これまでの家族的な雰囲気を壊さないように配慮して設計されたのである。

建て替えられたクラブハウスは、地上２階、エレベーターも設置される現代建築である。しかし、瓦屋根の日本家屋風のデザインを採用したことで、温かみのある空間が演出されている。

メンバーはもちろん、ゲストプレーヤーにとっても居心地のいい空間にするため、特にエントランスやロビーの照明には気が配られた。明るすぎず、暗すぎず、絶妙な間接照明によって照らされたフロントでは、親切かつ気さくなスタッフがプレーヤーを優しく迎えてくれる。

クラブハウス　コース側から

クラブハウス正面

エントランスロビー

レストランホール

テラス

カジュアルルーム 1部屋最大8名まで／2部屋

コンペルーム 1部屋最大 32 名まで／3部屋

《アクセス》

■ 車でお越しの方（最寄りインターチェンジからの道順）

中央自動車道 / 調布 I.C.（約 10km）

中央自動車道の調布 I.C. より、甲州街道を八王子方面へ直進し、すぐ「上石原」交差点を右折。天文台通りを約 2.5km 北上したあと、「天文台北」交差点を左折し、東八道路を国立方面へ約 3 km 進み、「前原一丁目」交差点を右折。小金井街道を武蔵小金井駅方面へ向かい、「小金井橋」交差点を直進し、300 mほどで入口へ到着。

関越自動車道 / 所沢 I.C.（約 15km）

所沢 I.C.「入間・所沢市街」方面出口を出て、国道 463 号に入る。「松郷」交差点を左折。県道 24 号に入る。道なりに進むと小金井街道に出るので、道なりに「清瀬」、「花小金井」の駅踏切を越え、到着。

※クラブバスの運行はしておりません。車もしくは公共交通機関を利用してご来場ください。

■ 電車でお越しの方（最寄駅から）

JR 中央線 武蔵小金井駅

●バ　ス　▶北口バスロータリー「２番」もしくは「３番」乗り場から西武バス乗車。
▶西武バス 武蔵小金井駅～小金井公園西口下車（約６分）。
▶バス停「小金井公園西口」より、来た道をそのまま 100 mほど進むと入口。

●タクシー　▶北口にタクシー乗り場あり（約2km）。

西武新宿線 花小金井駅

●バ　ス　▶西武新宿線 花小金井駅南口を出て、ロータリーを反時計回りに進む（ファミリーマート方面）。ソフトバンクショップの左脇を進み、桜並木の遊歩道に出るので右折。道なりに進むと小金井街道に出るので、信号を渡らずにすぐ右手にあるバス停「南花小金井」から西武バス乗車。
▶西武バス 南花小金井～小金井公園西口下車（約 15 分）。
▶バス停「小金井公園西口」より、来た道を戻る形で 100m ほど進むと入口に到着。

●タクシー　▶南口にタクシー乗り場あり（約 1.5km）。

小金井カントリー倶楽部

〒187-0012 東京都小平市御幸町331
TEL:042-381-1221
FAX:042-384-9596